

小暮雅一氏によるアクチュアリー講演

日本アクチュアリー会等での数々の講師や各保険会社でのコンサルティング業務を経験され、保険数学、損保数理等に関わる多数の著書を執筆されている小暮雅一（こぐれまさかず）氏が講演します。

テーマ： 「アクチュアリー」の仕事、そのスキルまたそのためにはどのような「努力」、「教育」「自己鍛錬」が必要か

日時： 2018年2月19日（月） 10:00-11:30

場所： 琉球大学理学部数理科学科 理系複合棟 412 教室

<小暮雅一氏 経歴>

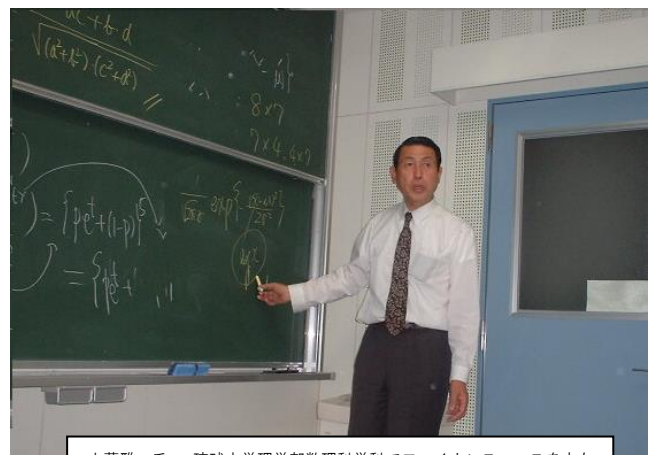
1962年 東京教育大学理学部数学科(現・筑波大学) 卒業
三井生命保険相互会社、大東京火災海上保険(株)等を経て、コンサルタント・アクチュアリーとして独立。
三井海上火災保険顧問、損害保険料率算定会顧問、大同火災海上保険顧問、損害保険事業総合研究所講師、琉球大学理学部講師（2002～2004年）を歴任

現在 日本アクチュアリー会正会員

著書 「例題で学ぶ損害保険数理」（共立出版株式会社）
「保険の数理-損保・生保・年金」（損害保険事業総合研究所）
「やさしく説明した「確率」の解説書」（損害保険事業総合研究所）
「ようこそ!統計学へ」（損害保険事業総合研究所） その他多数

<アクチュアリーとは>

アクチュアリーとは、一言で表現すると、「確率・統計などの手法を用いて不確定な事象を扱う数理のプロフェッショナル」です。確率論・統計学などの数理的手法を活用して、主に保険や年金に関わる諸問題を解決し、財政の健全性の確保と制度の公正な運営に務めることを主な業務とする専門職です。国際的な専門職として広く海外でも知られ、各国の企業からも高く評価されています。



小暮雅一氏： 琉球大学理学部数理科学科でファイナンスコースを立ち上げた平成 14 年頃の講義風景(複 412 室にて)